



新しい事業年度を迎えて

地球温暖化の影響が気候は比較的暖かく、過ごしやすい冬であったはずであります、アメリカに端を発した経済不況の嵐が襲来し、私たちの生活は誠にきびしい冬がまだ続いています。

植物や動物は季節にのみ支配され、例年より一週間以上も早く桜が咲きました。これからはツツジやフジ、ボタンなど例年と同じように咲いてくれるでしょう。せめて一時でも花を愛でて心を安らかに過ごすようにしたいものです。

さてCTF 松阪も NPO 法人としての 7 年度目を迎えます。会員の皆様の温かいご支援・ご協力のおかげをもちまして、着実に活動を重ね、障害者の方々から期待をされるようになってきております。

活動スタッフの充実・強化について昨年も会員の皆様をお願いをし、新たに 1 名の方が参加して下さることとなり喜んでおりますが、十分な活動のためには更なる増員が必要です、皆様のより一層のご協力をお願いします。活動スタッフは、資格は特に何も必要ありません。必要なものは情熱と一般的な社会性です。支援活動のノウハウは日常活動を通じて、あるいは研修会などで会得していただけます。決して難しいことはありませんので、お心あたりの方は事務局までご連絡ください。

5 月には CTF 松阪平成 21 年度通常総会が開催されます。詳細については、会員の皆様に別途ご案内を差し上げますので、多数ご出席いただき、建設的なご意見をいただきますようお願いいたします。

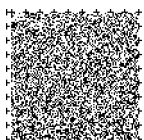


みずちから 水 力

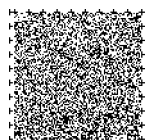
3月22日は毎年、国連水の日であるとテレビで報じていました。この日、日本でも主たる都市ではレストラン等でコップ一杯の水を飲むとユニセフ宛の封筒がテーブルに置かれ心ある人はワンコイン(100円玉)を置いてテーブルを離れていました。集まったお金はマダガスカル島の子供のために安全な水を供給するための資金に使われると言っていました。

ところで先日島根県・松江市に行ってきました。松江市と松阪市は共に城下町であり、それほど規模の変わらない都市です。松江城も天守閣は残っていますがその他の城郭は火災にあって消失したとの事でした。城址公園として、歴史民族博物館等も有り非常に良く似た景観なのですが周遊してみて何か趣が違うのです。松江城には内堀・外堀があって満々と水が流れていました。地球は水の惑星です。全ての生物は太古の海から発生したと習いました。それ故遊覧船でお堀を巡っている時、安らぎや落ち着きそして親しみさえ感じました。みずちから
水力は偉大です。松阪にも内堀・外堀は有ったようですが埋められて残っていないのが残念です。

月探査機「かぐや」が月の南極と北極の太陽光が永遠に届かない暗黒と極寒のクレータの底に水(氷)の有無を調べていましたが残念な結果に終わったようです。皆様この惑星の資源を大切に致しましょう。 参ちゃん



今月号は文字数が多いので、第1ページと第2ページ、第4ページにSPコードを2個ずつ付けてあります。第1ページと第2ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





スパイウェア対策は一筋縄ではいかない - 3 -

3、専用ソフトで検査する

Web ブラウザの設定に気を付けたり拡張子を確認していても、ユーザーがうっかりしたり安全性を誤認したりしてスパイウェアを実行してしまうことがあります。そのようなときに備えて併用したいのがスパイウェア対策ツールです。

対策ツールは、パソコンにインストールするパソコン・ソフト型とネットワーク上を流れるデータをチェックするゲートウェイ型のものがあります。パソコン・ソフト型は専用のスパイウェア対策ソフトやウイルス対策ソフトの付加機能として提供されています。ゲートウェイ型はファイアウォールやセキュリティ・ゲートウェイの付加機能として提供されるのが一般的です。

パソコン・ソフト型の検査方法には「オンデマンド・スキャン」と「リアルタイム・スキャン」の二つの方法があります。

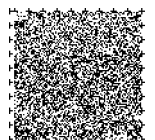
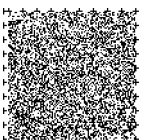
オンデマンド・スキャンは、ユーザーの指示をトリガーにしてスパイウェアがいるかどうかを検査する方法。

もう一つの検査方法であるリアルタイム・スキャンは、パソコンに常駐して受信したデータや書き込まれるファイルを検査します。ファイルの検査自体はオンデマンド・スキャンと変わりませんが、システム・フォルダへのアクセスやレジストリの読み書き、情報の送信といった動作を監視して疑わしい動作があったら画面上に警告を表示するようになっています。

対策ソフトは検出したスパイウェアを直ちに止めたり削除したりせずに、検出したスパイウェアの一覧を表示してユーザーの判断を仰ぎます。ここで「除去」を選ぶとプログラム・ファイルを停止し、決められたところに隔離したうえでレジストリやシステム・ファイルをスパイウェア実行前の状態に戻します。こうした処置を施すのはスパイウェアの削除が原因でほかのアプリケーションなどの動作に不都合があったときに元の状態に戻せるようにしておくためです。

ゲートウェイ型のツールは通過するパケットを監視して、流れてくるパケットからデータを取り出し、シグネチャと比較することでスパイウェアを検出します。スパイウェアを発見すると転送中のパケットを廃棄して、パソコンの Web ブラウザに「スパイウェアを検出したため転送を中止した」というメッセージを表示し、パソコンに届かないようにします。

つづく



活動報告

[3月]

障害者対象個人向けパソコン講座

(3日、10日、17日、24日)

障害者宅訪問 IT サポート

(11日、18日(3件))



活動予定

[4月]

障害者対象個人向けパソコン講座

7日、14日、21日、28日

各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

第 28 回理事会

11日 13:30~16:00

松阪市障害者福祉センターにて



写真は櫛田町にある“左さんぐうみち”の道標

まつさか歴史街道

伊勢街道(3) 松阪城下から稲木町まで

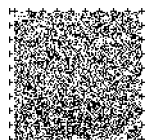
愛宕町の黒門から松阪城下を出た街道は垣鼻・徳和・上川・豊原を経て櫛田川を舟で渡り、早馬瀬・稲木を過ぎ被川の手前で明和町に入り伊勢をめざすことになる。

江戸時代、多くの参宮道者で賑わったこの街道沿いには、行き交う旅人の平穏無事を祈っていくつもの道標や常夜灯が建てられた。これらは地元の者が世話をして、江戸・大阪・近江・河内といった遠隔の人の手によって建てられたケースが多いという。

上川町には「従是外宮四里(これよりげくうより)」と刻まれた道標があり(写真右)、長旅の旅人たちもこれを見て安堵の思いを抱いたことが推察できる。

余談であるが伊勢街道は、大正9年から昭和27年まで国道1号線として認定されていたことを知る人はあまりいない。

次号につづく



はじめてのショートステイ(8)

O.I

月 日(水曜日)曇りのち晴れ

なんとも長い1週間だった。今日は帰れるんだと思うと気分も自然とうきうきしてくる。

朝食を済ませて新聞を読んでいると職員が「お風呂なんです、どうします」と言うので前回の様子を話すと「特別な浴槽があるから」と言うので体験してみることにする。

9時過ぎ、CW(ケースワーカー)に案内されて1階の浴場へ行く。手際よく身包みはがされて専用車に縛り付けられ順番を待つ。全自動洗濯機のようなものに放り込まれるのかと思っていたら、洗うのは自動ではなく前回同様、頭からシャワーをぶっ掛けてごしごしと洗ってくれる。ただ、座って居ればいいだけ楽である。

洗い終わると専用車を浴槽にドッキングして、湯温、湯量、入浴時間、等々を設定してスタートボタンを押すと入浴開始となる。

下からじわーっとお湯が入ってきて、設定値まで入ると止まり、設定時間がきたらすーっと抜けていく。ただお湯に浸かっているだけというなんとも味気ない入浴である。

最後の昼食を済ませて部屋に戻る。送迎の車が出るまでにはまだ時間があるが、何もすることもないので持ってきた荷物をまとめていると、施設長がアンケート用紙を持ってやってきた。

この1週間、至れり、尽くせりのサービスで、NSもCWも甲斐甲斐しく世話をしてくれ、感謝の気持ちで一杯なのだが、なぜかもう2度と戻りたくない気分なのである。どうしてなのだろう?・・・それがなぜなのかは解からない。

でも、やっぱり「生まれ育った家がいい!」 何はなくとも、今までどおり婆さんと平々凡々な毎日がおくれる生活に一日でも早く戻れるようお願いつつ。



編集後記

今年も、さくらの開花が早いようです。4月には、葉ざくらかもしれませんね。葉ざくらの前のさくら吹雪もきれいですよ。



CTF 通信第 73 号

2009年(平成21年)4月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp>

